



## 日本で大きな地震がよく起こるのはどこの

### マグニチュード6以上の地震は、年平均15～20回起こっている

日本は、世界の中でも地震の多い国です。地震のエネルギーの大きさは、マグニチュード、という単位で表します。ふつう、マグニチュード7以上を大地震、8以上を巨大地震とよんでいます。

日本列島と、その周辺地域では、マグニチュード6以上の地震が、平均して1年間に、15～20回、起こっています。マグニチュード7以上の地震は、1年間に1、2回ぐらい、マグニチュード8をこえる地震は、10年に1回ぐらい起こっています。全世界の地震に対して、日本の地震がしめる割合は、10パーセント近くにもなります。

### 太平洋側に多い

日本で巨大地震が起こるのは、北海道沖から沖縄にかけての、太平洋側です。特に、北海道から東北、関東から東海・紀伊半島にかけては、巨大地震が起こる所が、となりあうように、10以上も並んでいます。そして、それぞれの場所で、平均して百数十年に1回の割合で、マグニチュード8に近いが、それ以上の地震が起こっています。

内陸や日本海側では、マグニチュード8ぐらいの地震は、ほとんど起こりませんが、マグニチュード7ぐらいの地震は、各地で起こっています。このような地震は、数百年から数千年に1回ぐらい、起こるといわれています。（監修・国司 真）

